

新選  
繪入

消息往來

瀧澤清編輯

全

特71

501

301203-000-7

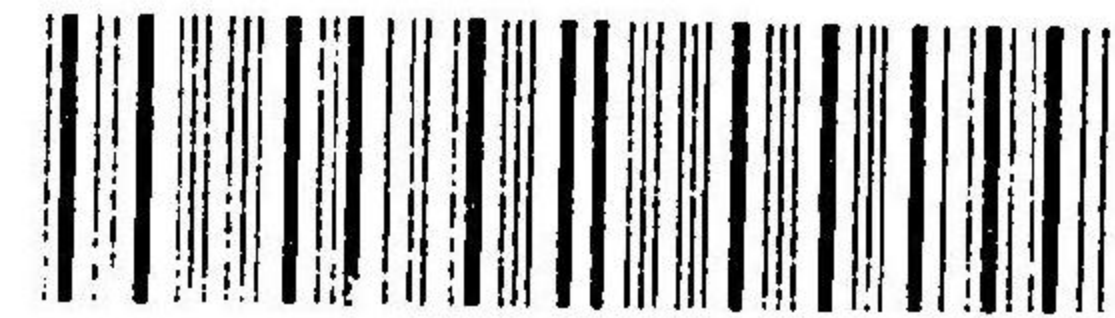
特71-501


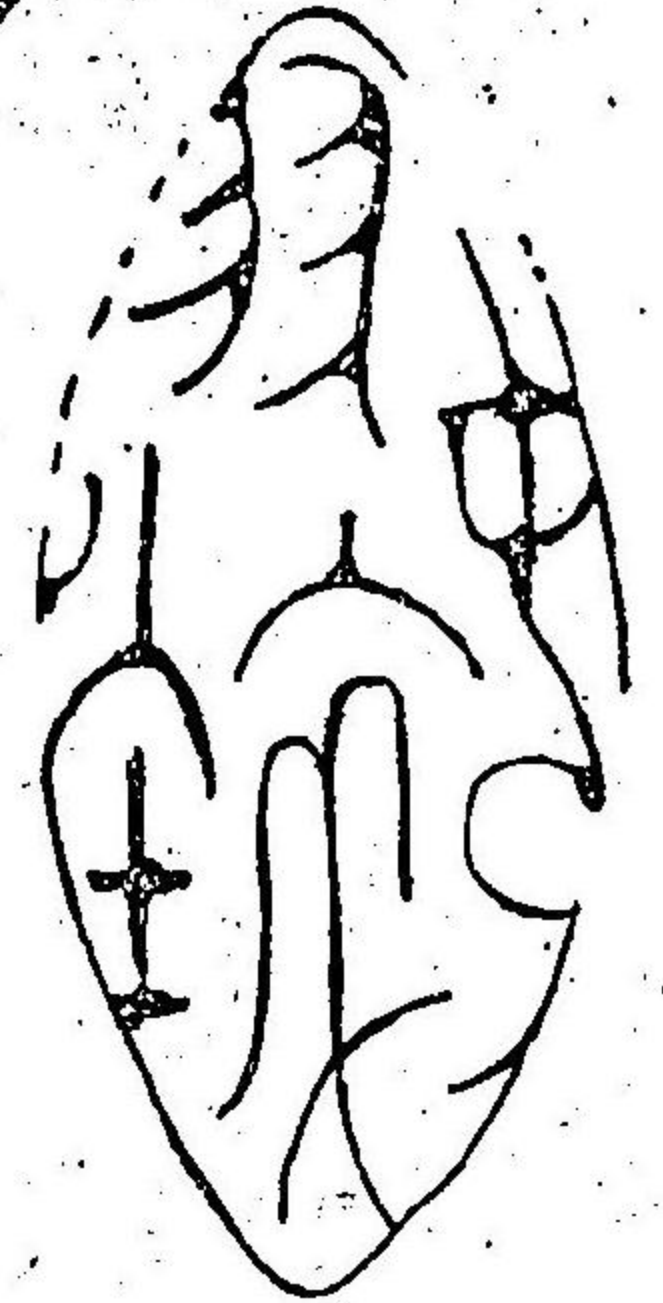
消息往來（新選繪入）

瀧澤清／編


M15.5

DAC-0014




  
 筆尖  
 自在  


龍澤青編輯

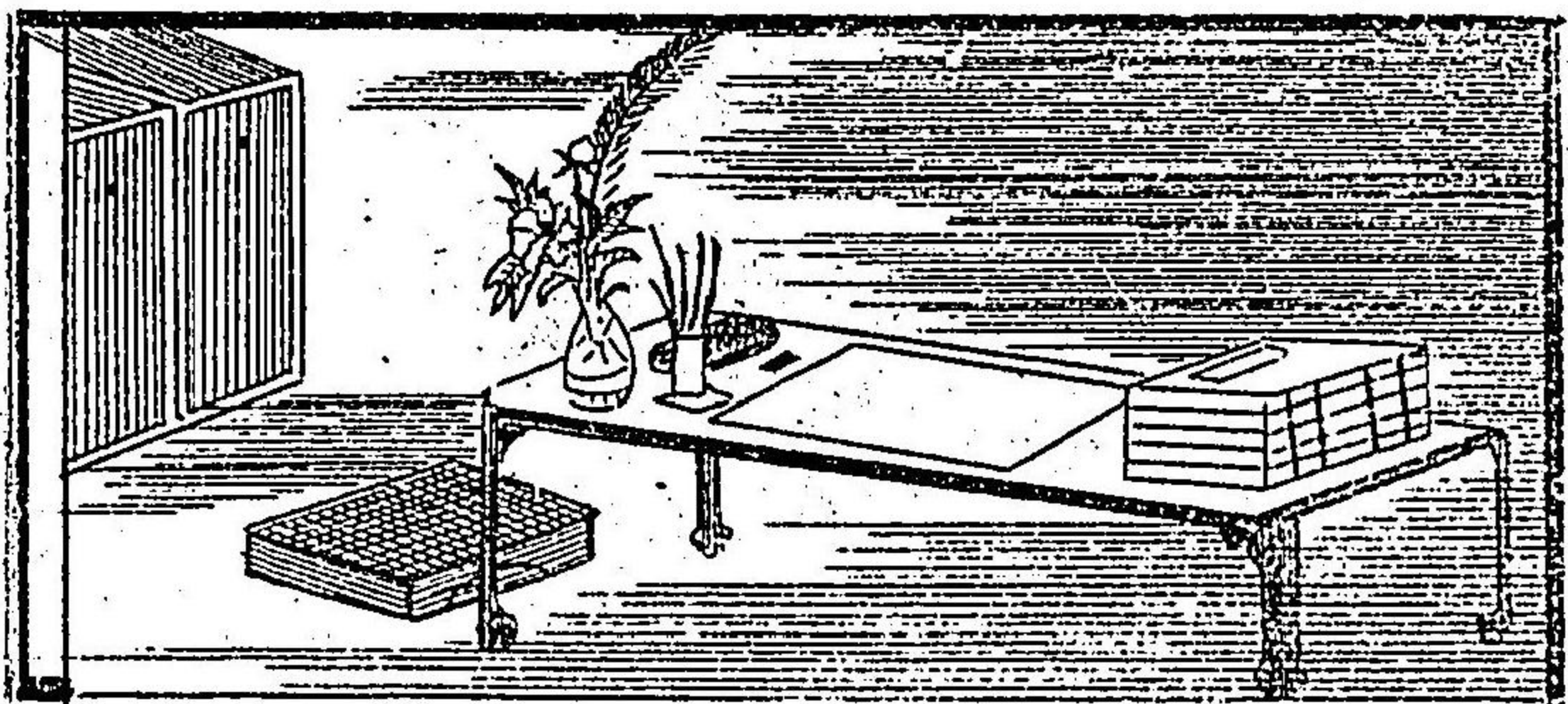


東京特刊

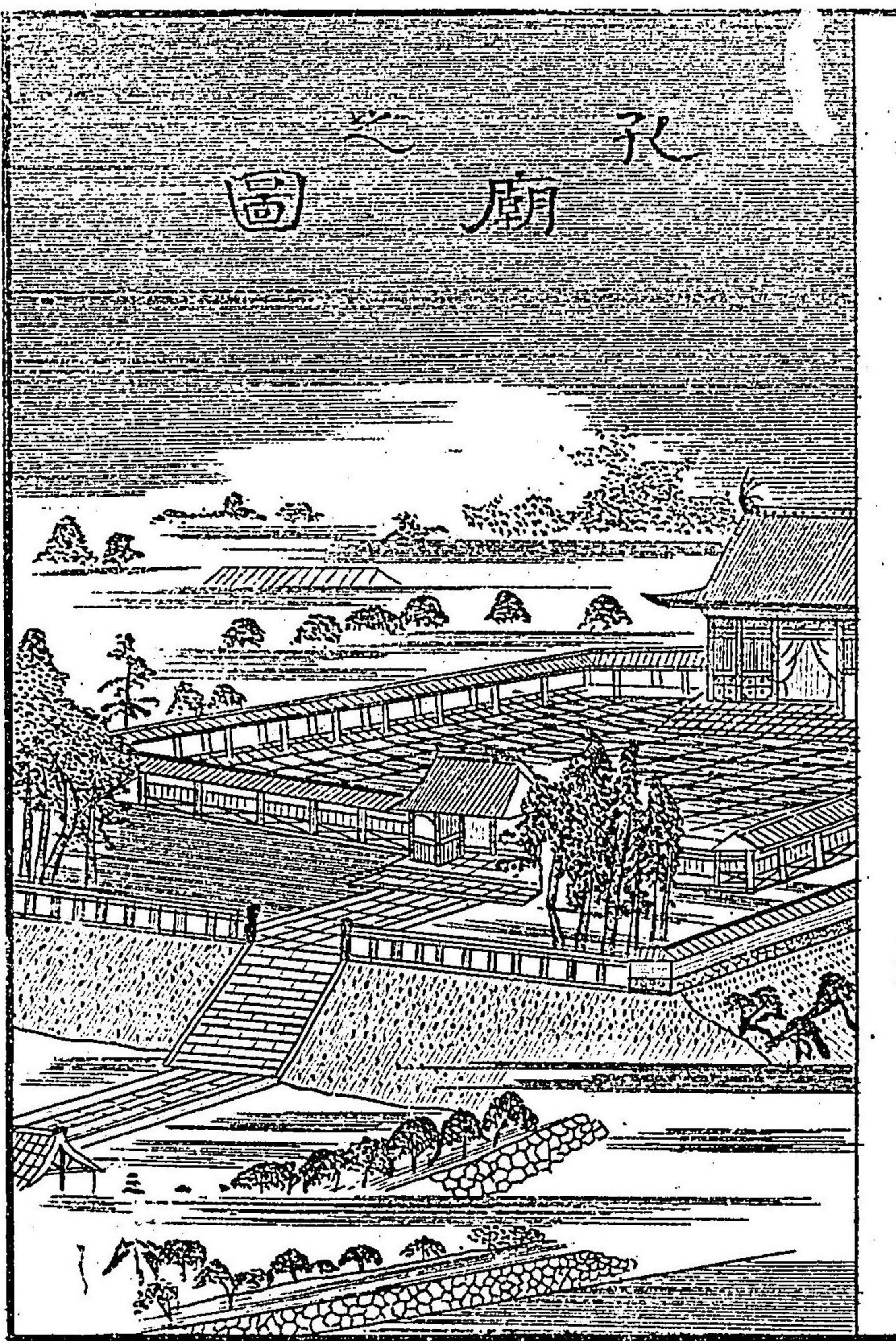
松田幸助藏



新造  
 消息  
 往來  
 52.6.9  
 77H21714



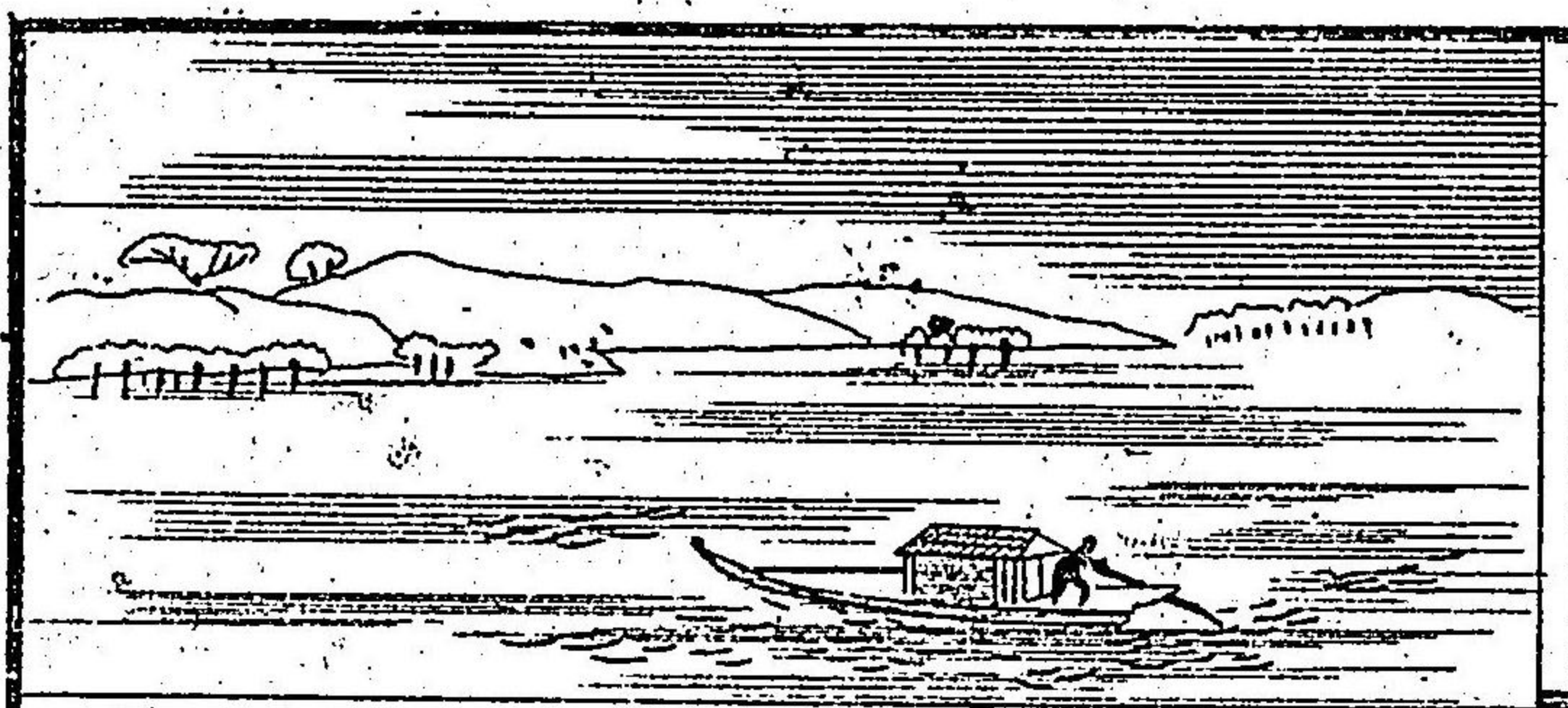
新道消息地来  
 濠澤一清者  
 凡清自是年...  
 安否...  
 回り人式所用



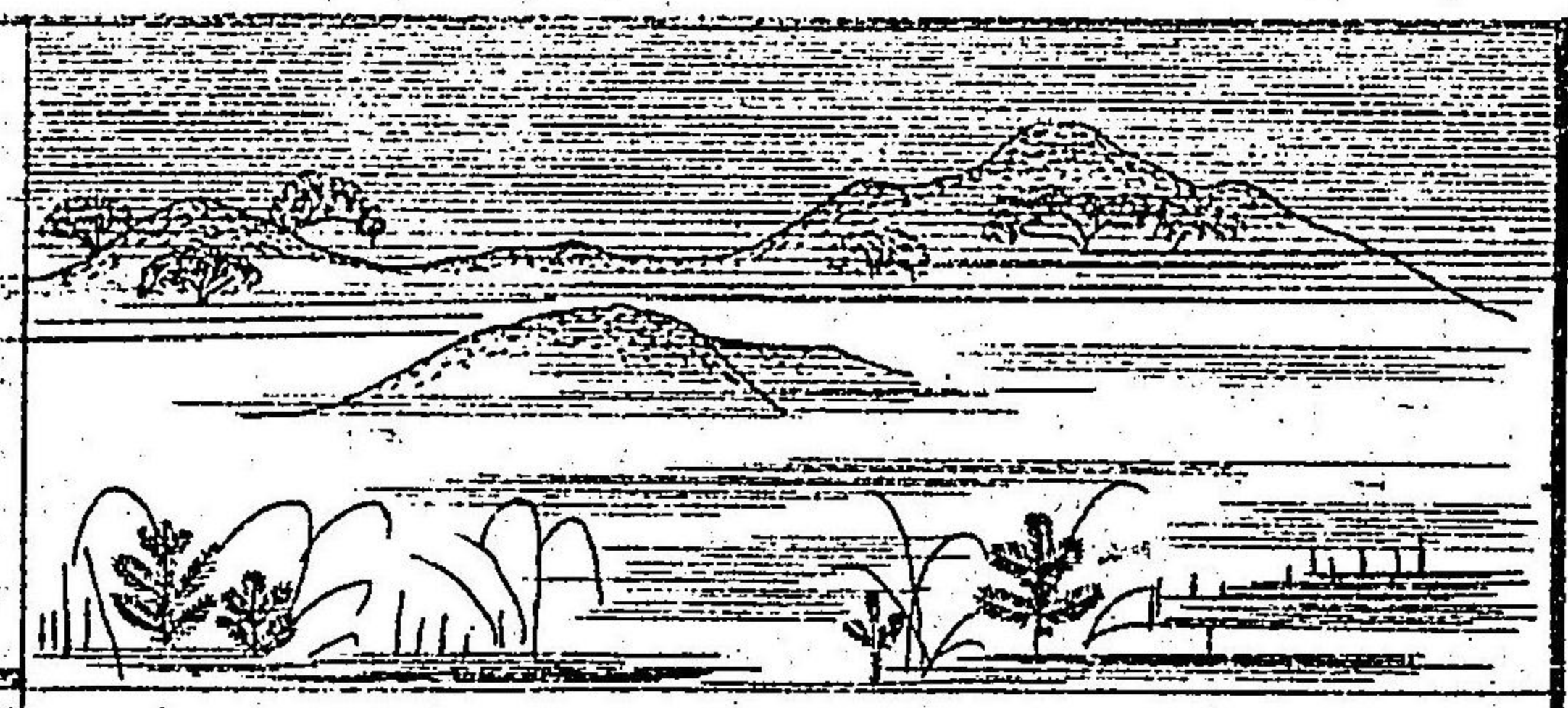


米と麦の入道  
 雲の舟の米舟本堂  
 高き岸の浪の音お見  
 柳見お後しゆん仕  
 静かき山法師の舟

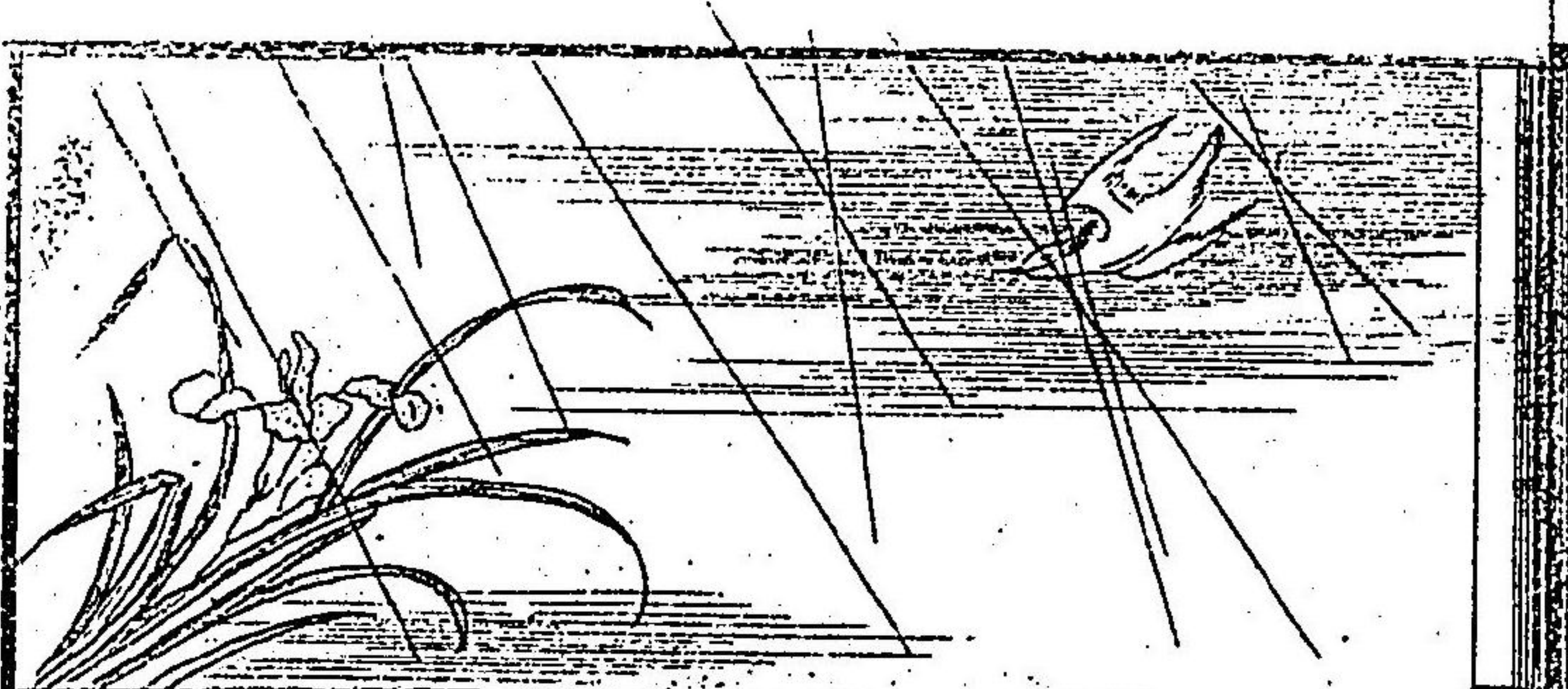
石の舟の舟  
 舟の舟の舟  
 舟の舟の舟  
 舟の舟の舟  
 舟の舟の舟  
 舟の舟の舟  
 舟の舟の舟  
 舟の舟の舟



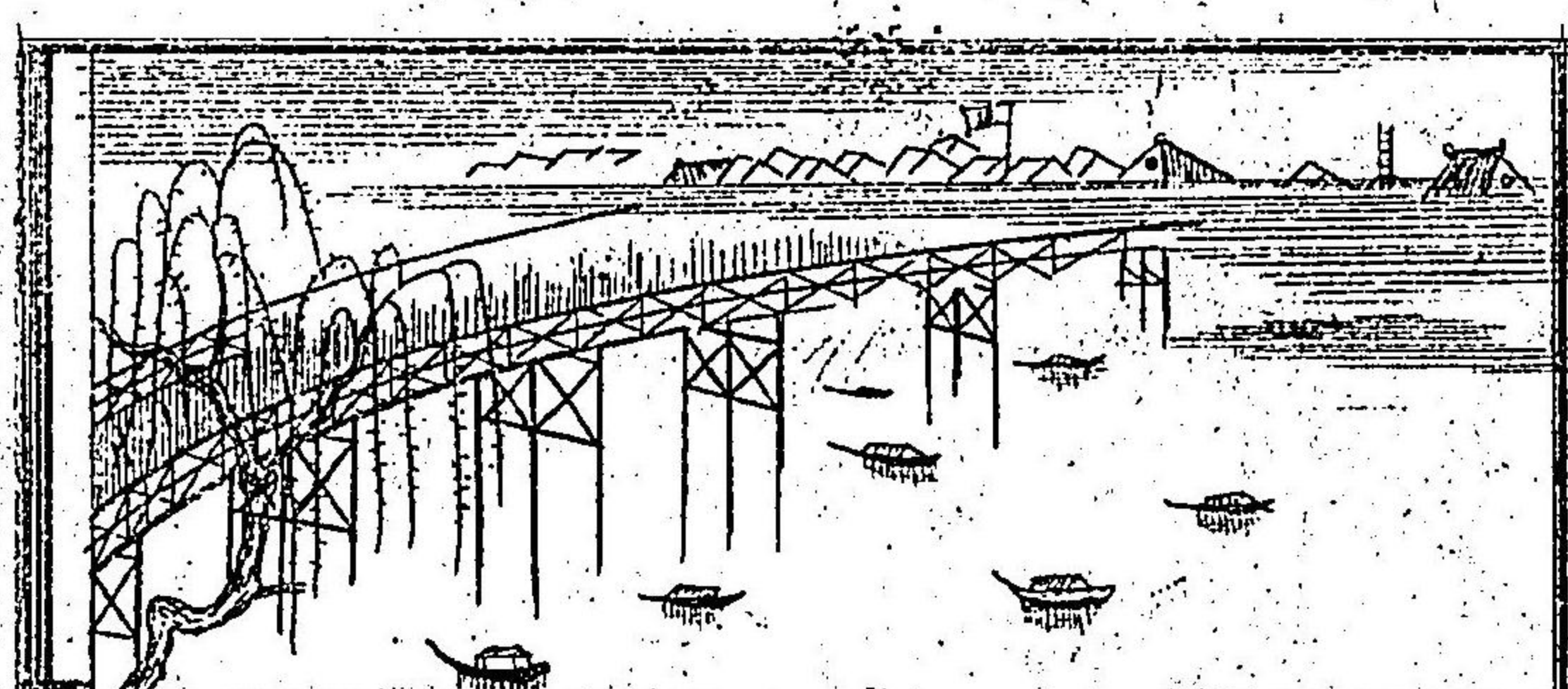
晴の日の暮る月まぐせ  
 夕の光を甘くたん  
 味を極くフエノスエ  
 強くサムサツ  
 月をうん。かちく  
 福のハルコ  
ハルコ



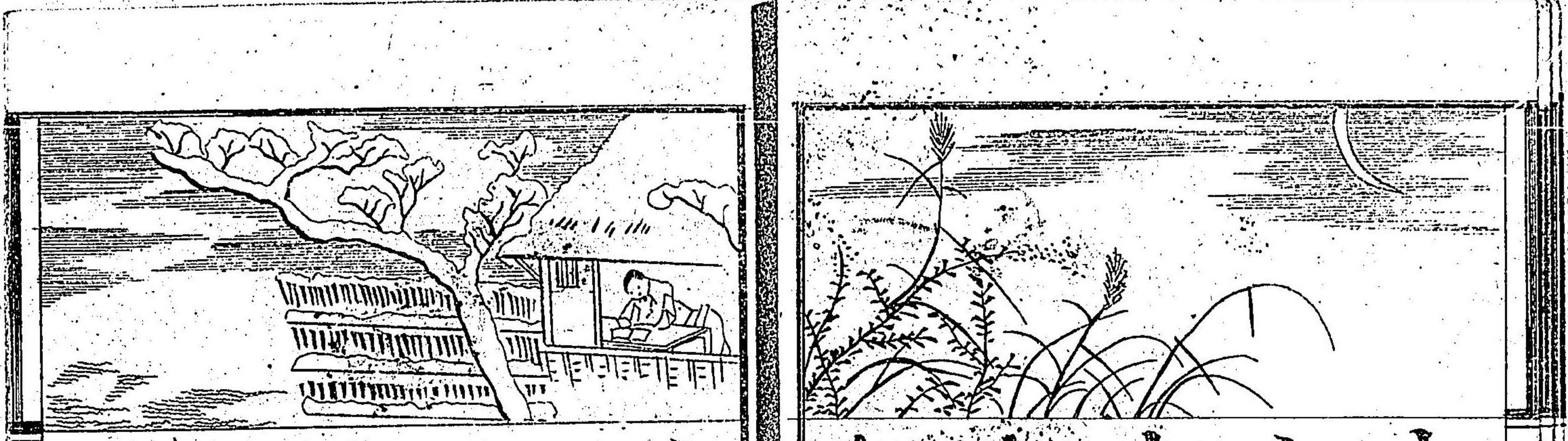
集くん 年しん 少せう 函はつ 三さん 月げつ 暮ぼ  
 和わ 暖ぬ 春はる 三さん 月げつ 暮ぼ  
 曜やう 山さん 陽やう 名な 烟えん 暮ぼ  
 早せい 目め 清せい 和わ 暮ぼ 来らい  
 龍りゆう 野や 道だう 日にち 温おん 和わ  
ヤハラ



五月 夏 暑 者  
 六月 自 入 梅 家  
 津 赤 橋 亦 勝 之 也  
 氣 撫 竹 陶 米 ぬ 或 之 南  
 夏 心 僅 暑 者 七月 入 暑



遊 白 者 酷 暑 者 甚 矣  
 大 是 酷 暑 也 也  
 土 田 也 也 殊 熱 殊  
 在 殊 後 每 月 八月  
 秋 是 未 去 又 之 風



お精清源丸ヤヤ

高秋母お醒コウキウモウオウ

た白浪子次タシロウシジ

日暮事秋十月ヒクセキアキト

お早しき母オハヤシキハハ

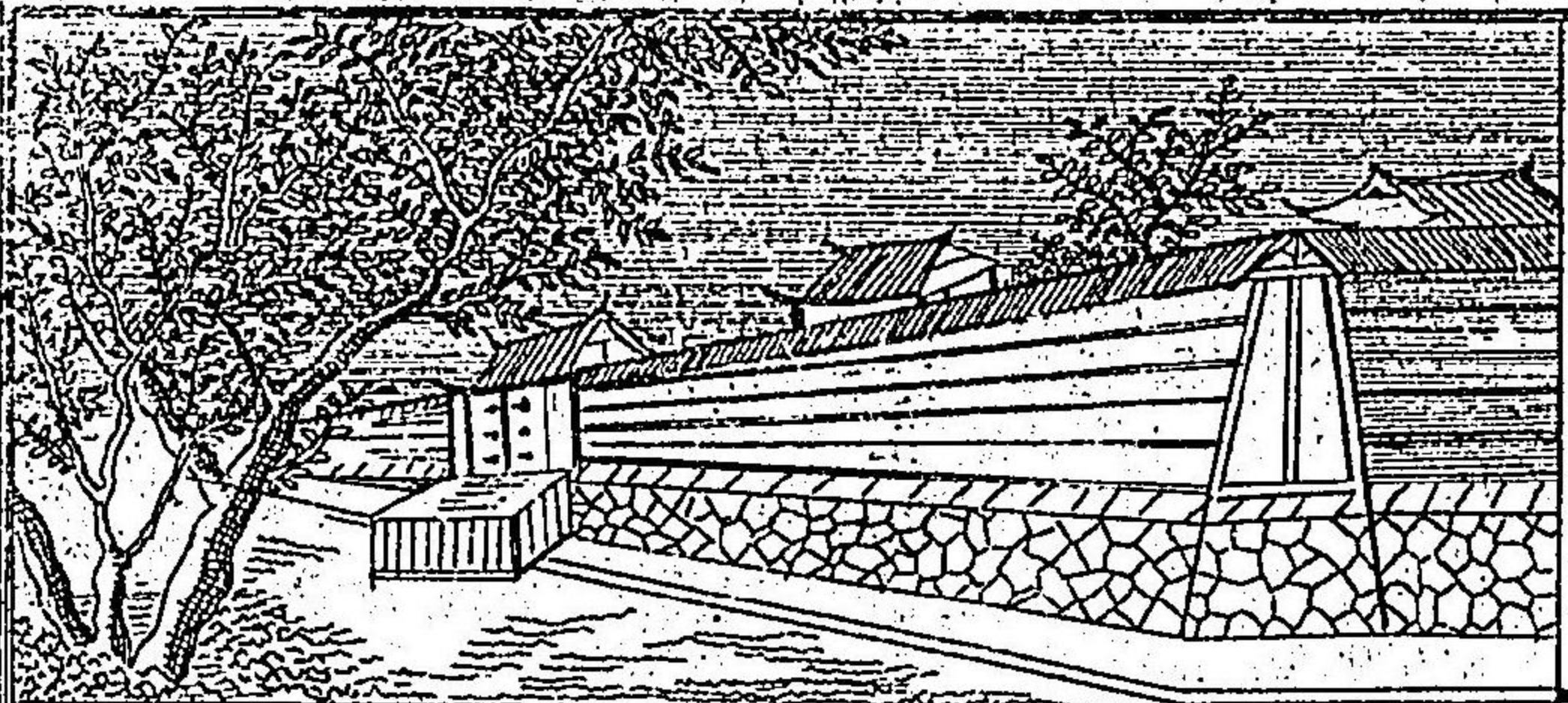
言風騰結雪十クンフウトウケツユキト

一白小海おお醒イツハクショウカイオウ

年小風燈雪性トシオコフウドウユキセイ

吾紅毛多侍ウベニベニタシ

おお始者大橋オオハジメオオハシ



善之良静室子被遊  
 之傳被為朱社為  
 海首公也師與人  
 傳名雅見大方員  
 法之諸君子庶見

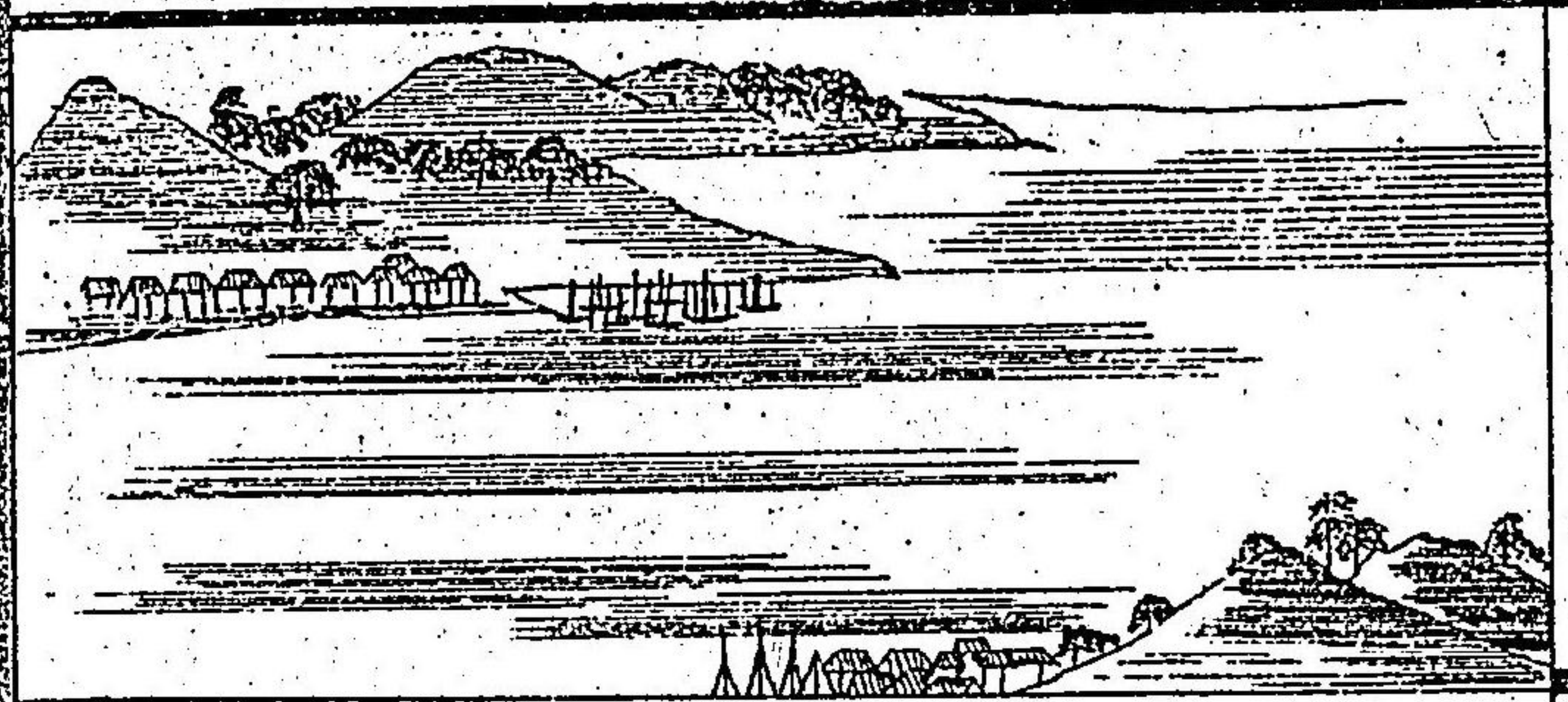


名線被為持也  
 之身名場以也健也  
 福州存之也練  
 又乃又也信者使  
 而能也也也也





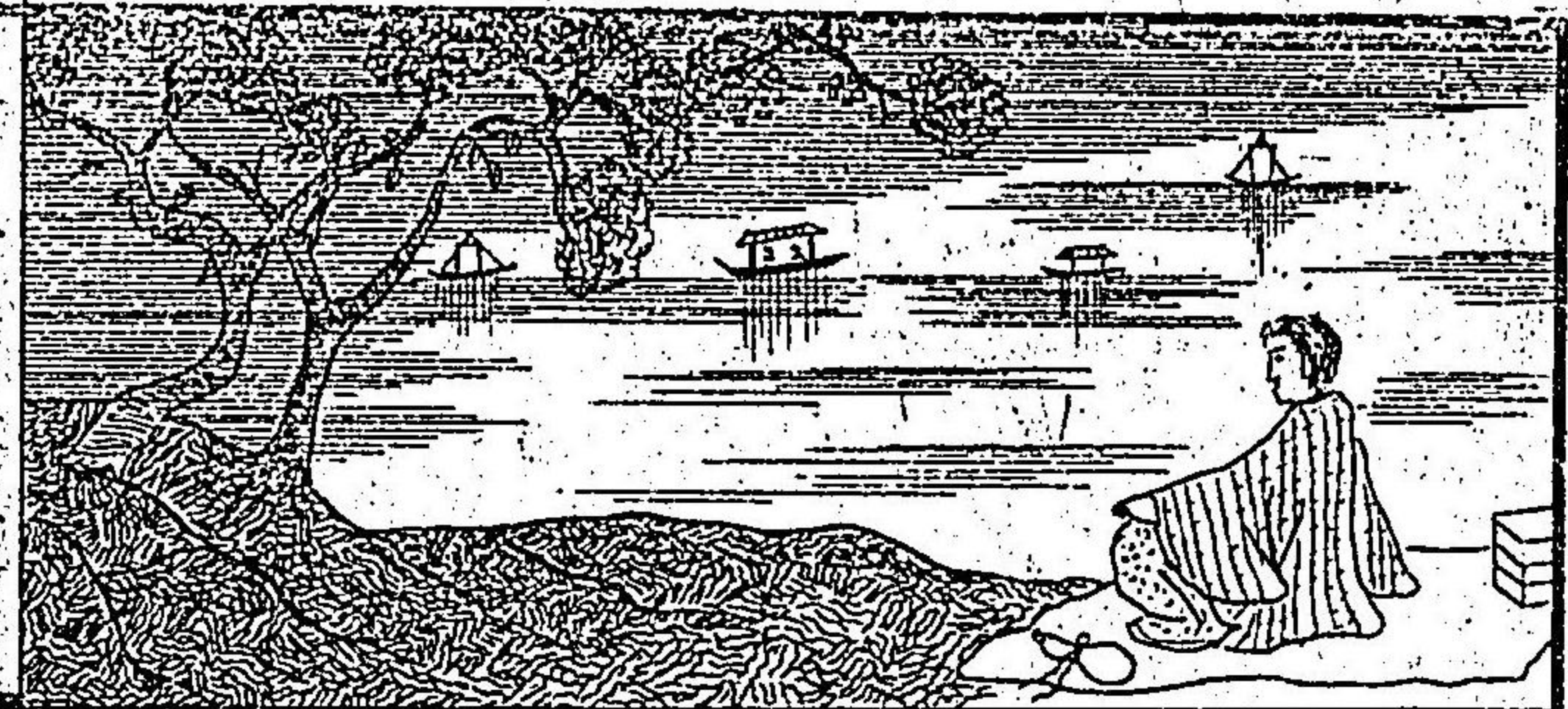




むきまゝのついでに。あつた  
 香曲は又様又  
 死に味をやはら  
 併しあつて。ちやう  
 そのあつち。そんなど。おつた  
 甘地尊と様  
 まい。あつて。あつた  
 光る易い色  
 アーレン

どのあつちの。あつた  
 来路は又様又  
 ノチは。あつた。あつた  
 持はあつた。あつた  
 うちをえ。あつた。あつた  
 未結は。あつた。あつた  
 しろとんで。あつた。あつた  
 じりあつた。あつた。あつた  
 ニヨウ





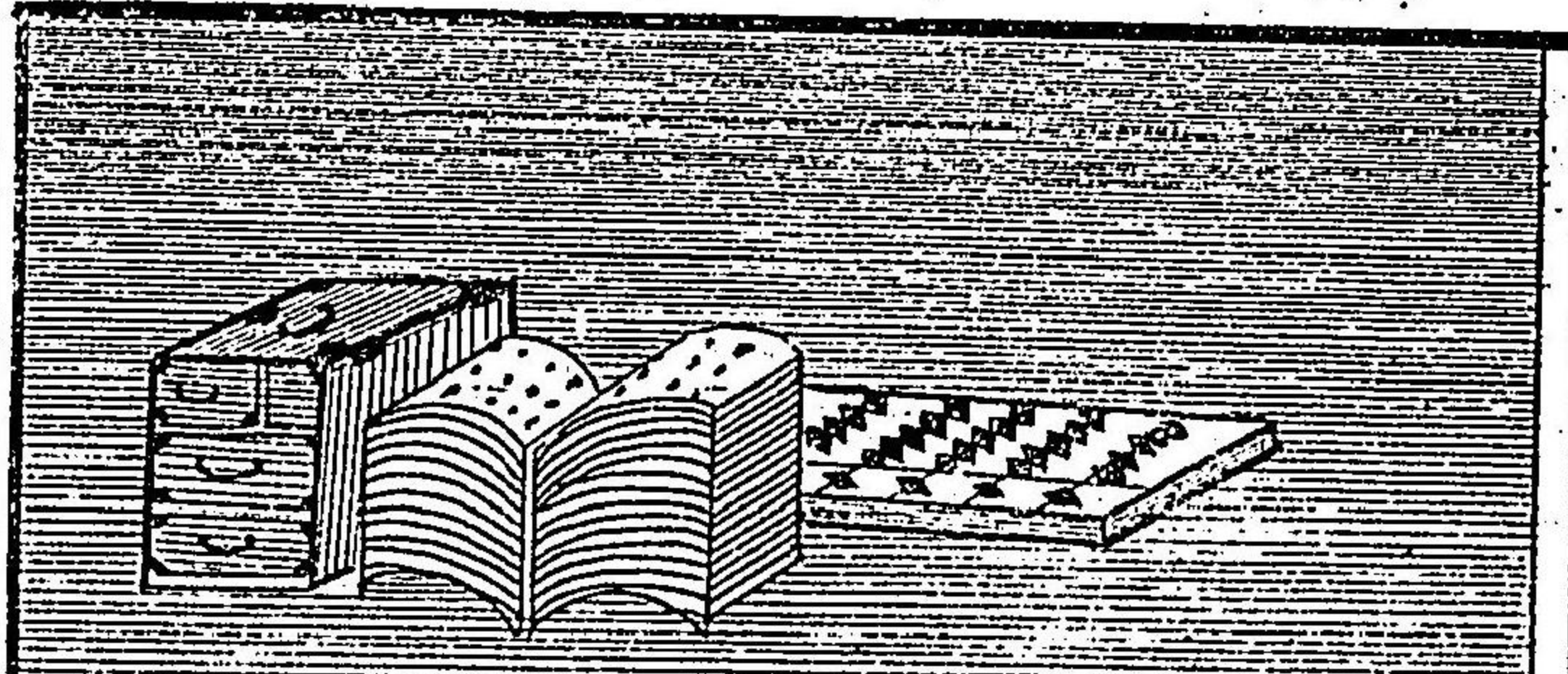
侍 心 所 深 意 世  
 他 心 無 端 之 連 俄  
 後 及 之 舞 奇  
 之 春 之 初 始 之 情 集 不  
 趨 定 之 店 群 之 集 示  
 集 會 之 事 始 之 集 候  
 向 儀 之 遊 山 遊 具  
 帰 宅 之 途 中 之 事  
 中 在 宅 之 新 毛 帽  
 フル  
 一  
 十一



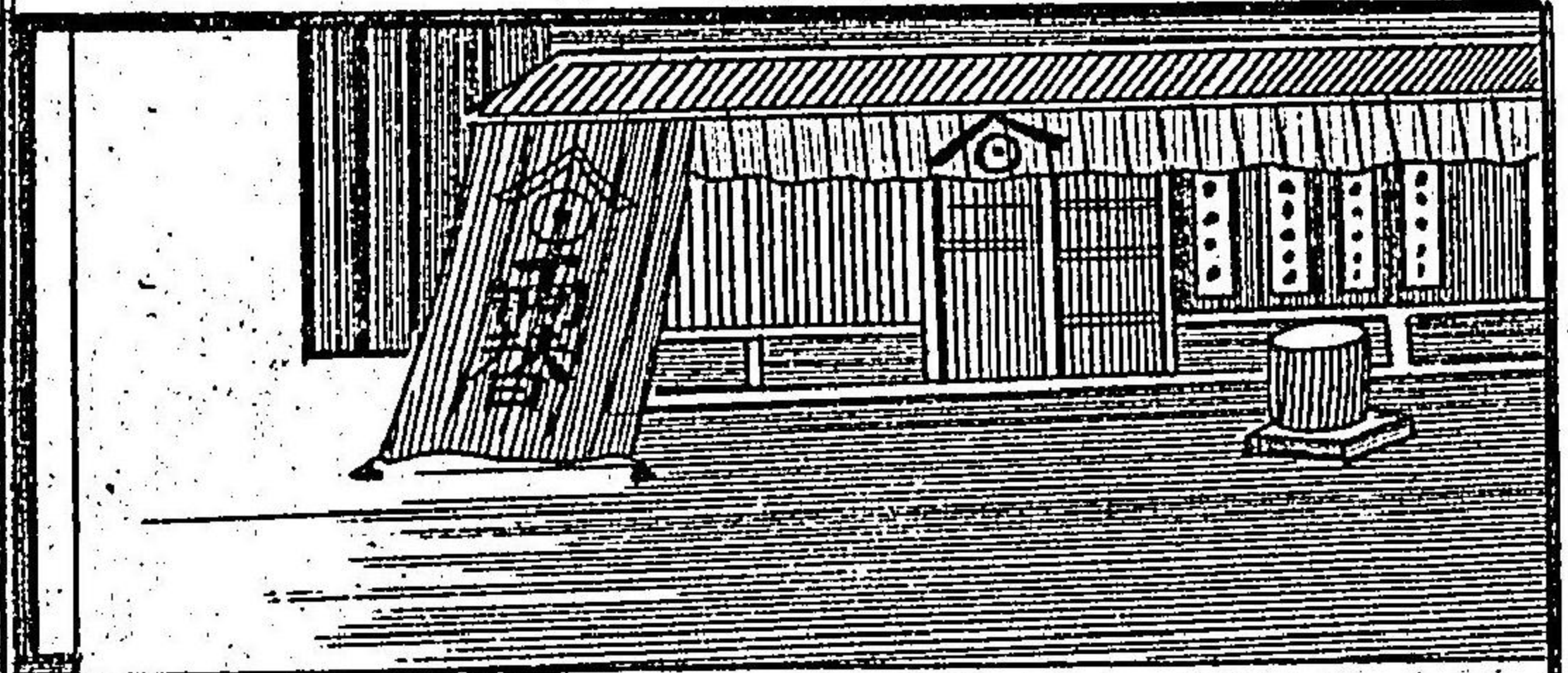








代々借入多連日記  
 諸文注文諸書  
 確證入札抄書  
 赤丸手形諸書  
 小分母子書等  
 小分母子書等

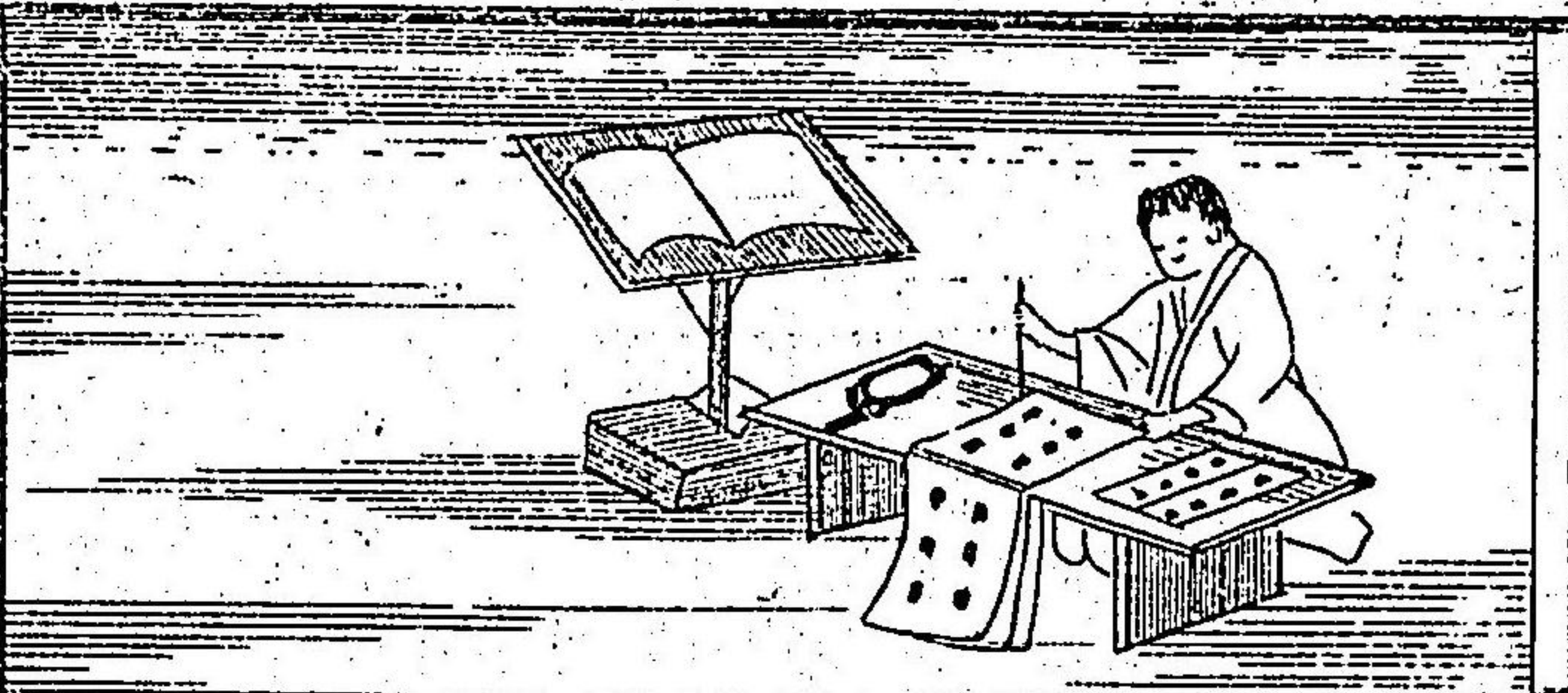


河内物屋物轉  
 仕入書物の總屋  
 銀銅貨金銀器  
 物中一室物  
 丹三向反部屋





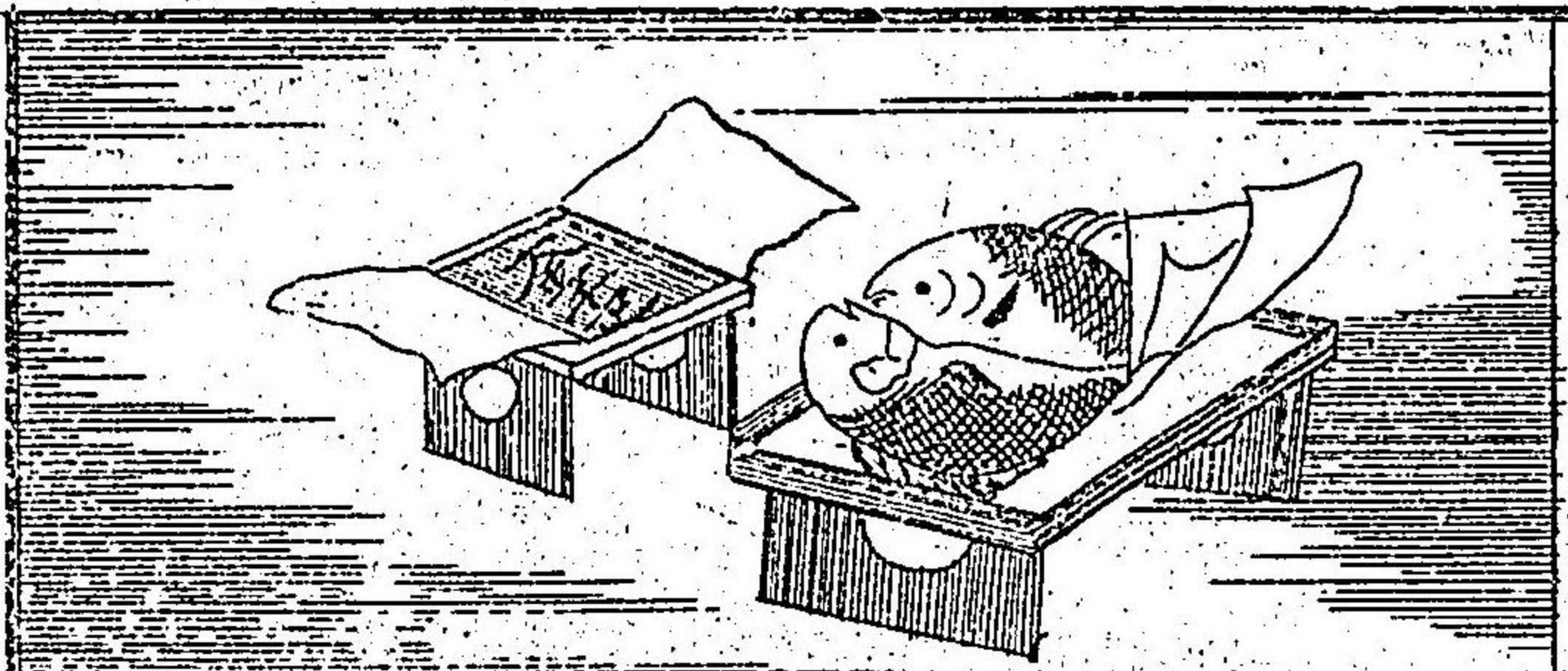




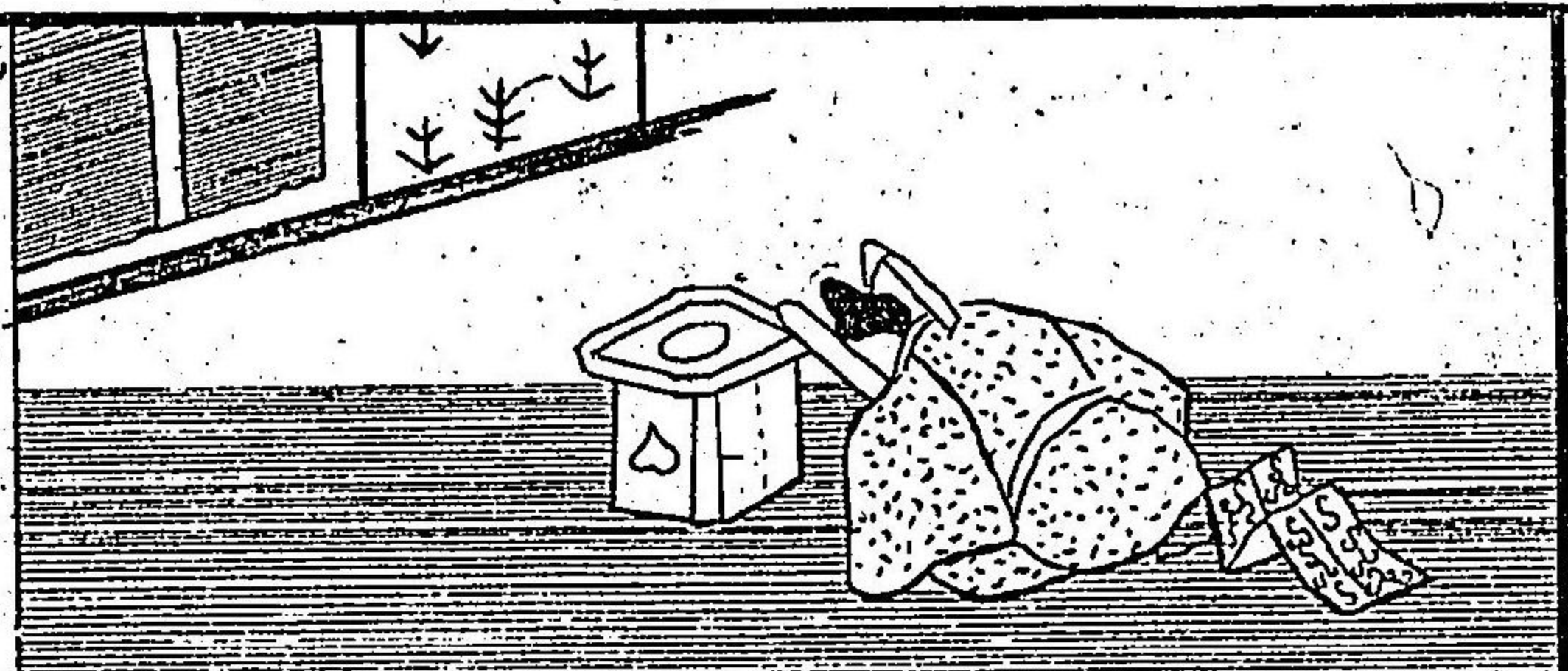
羽子山行原厚  
 禮儀龍舌在燈下  
 世矣念ふ心却  
 勵精心難く  
 詩海且又親歎



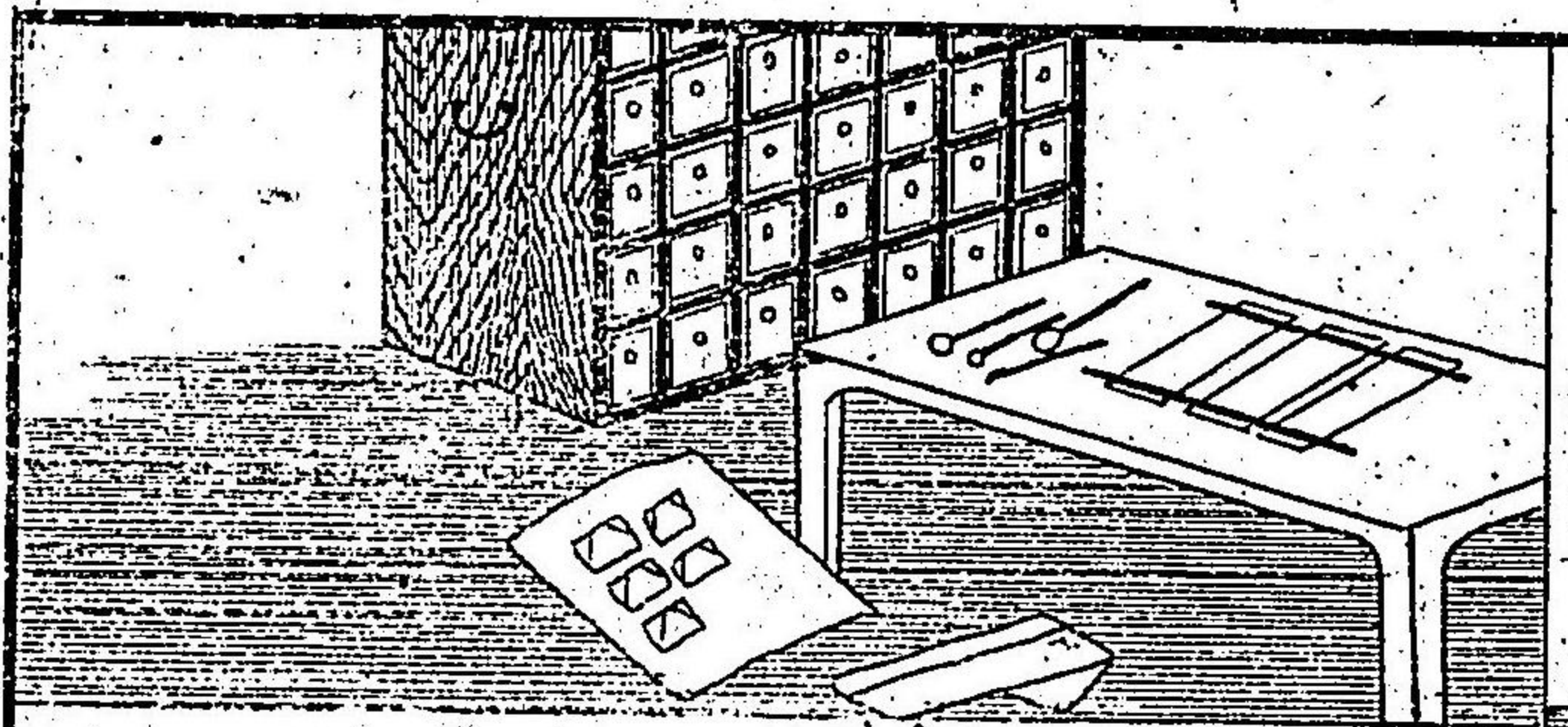
外哉心身學友  
 朋友世獨神  
 吾何能同慶  
 訪小園中知  
 君中何名訪問



名代伏人 口之濱  
 舟持 船お湯釜  
 向持 扇如月  
 清く 舟の 舟子 権  
 秋之 秋 直 進 舟 相

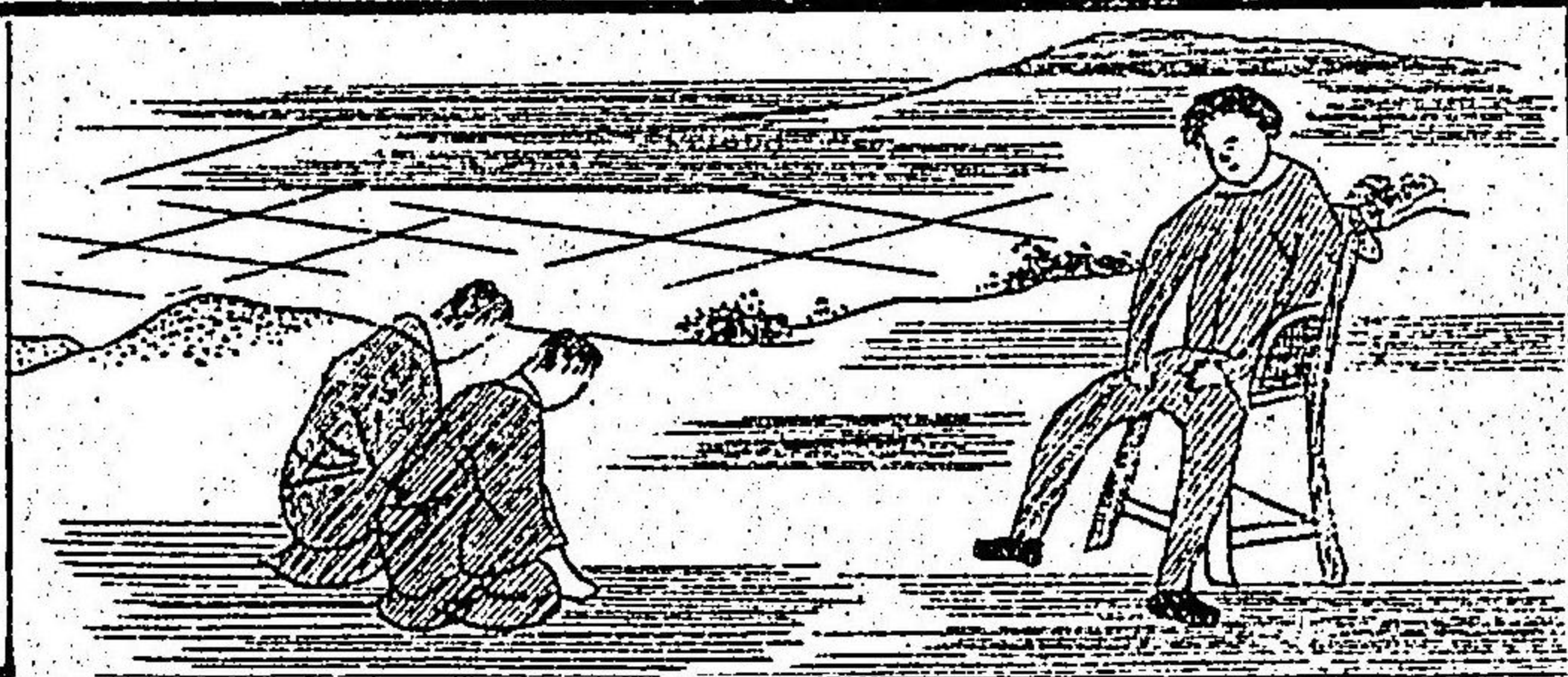


星 波 成 敷 舟 領 合  
 少 種 綴 舟 履 積  
 船 登 儀 船 渡 夏  
 洞 所 舟 舟 倒 舟 病  
 亮 舟 舟 舟 舟 積 煩



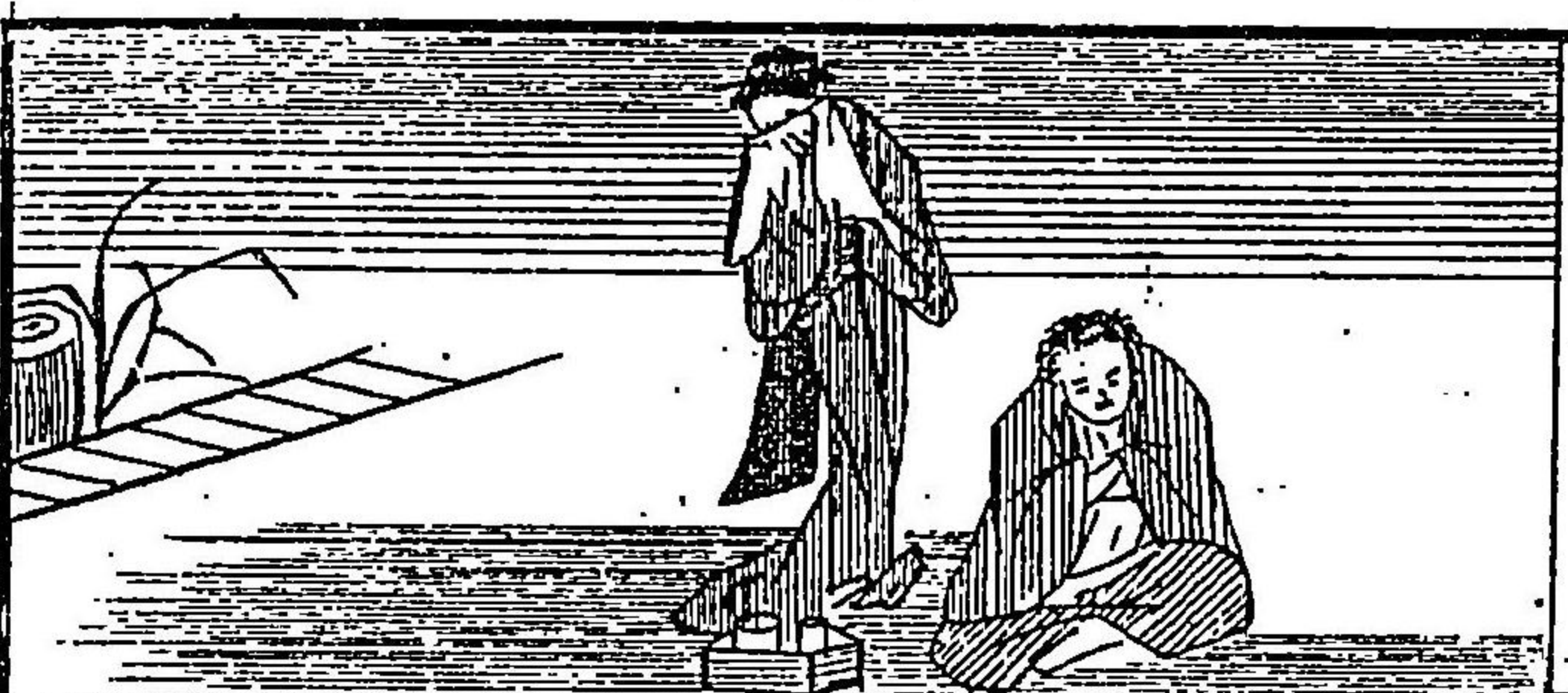
苦痛心医薬根  
 菜刈り良薬少良生  
 保良薬色倍  
 精方了所里能の生  
 少美の治り家内洋家

多中お取捨者野  
 生少生く集生又老  
 父中お殿西意心由  
 書あ前布妙書由  
 将病子孫兒娘

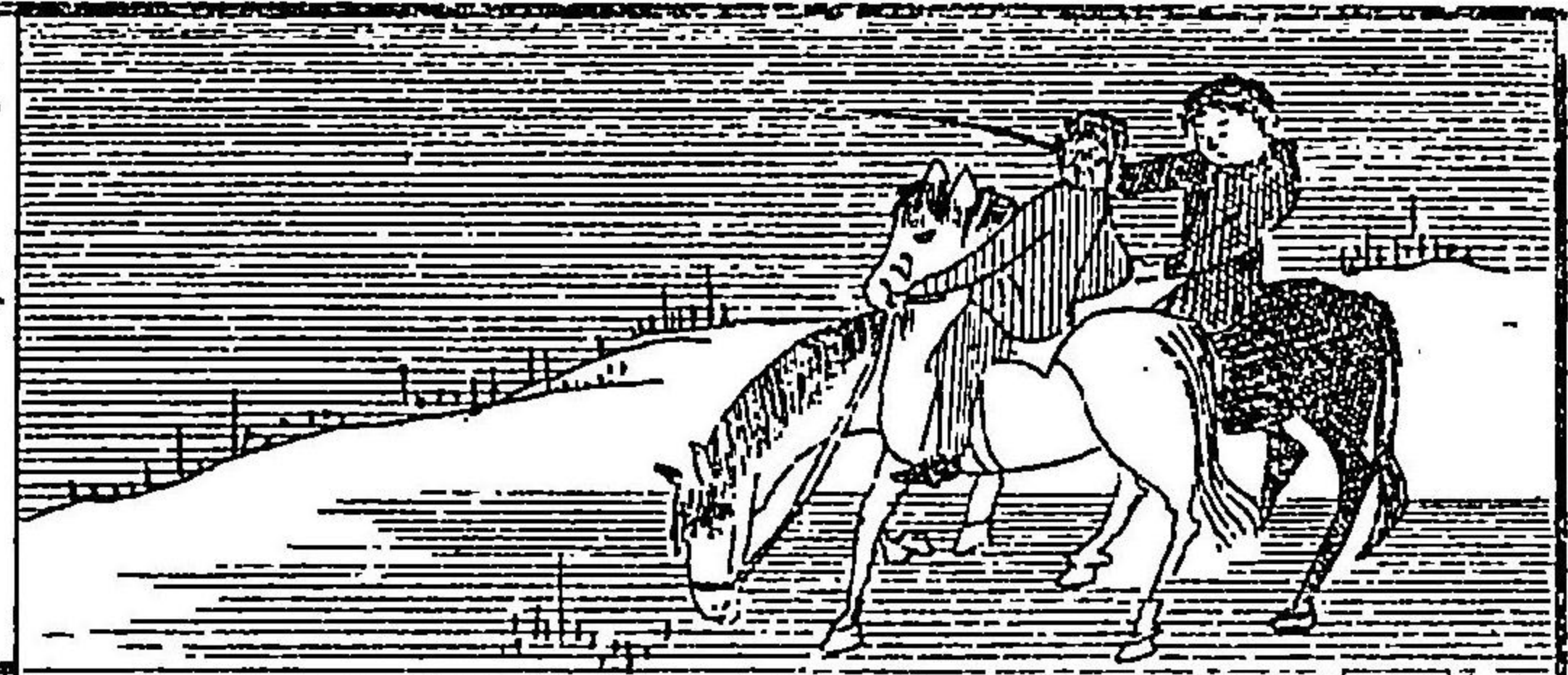


子母始兄長先阿  
 兄弟弟反阿中  
 弟長姊姊姊姊  
 祖父由姊父知父  
 伯母伯母伯母  
 孫孫中甥孫孫  
 叔別後同姓男  
 姑解其長子阿  
 如弟之弟之通其  
 尾破別名本之反

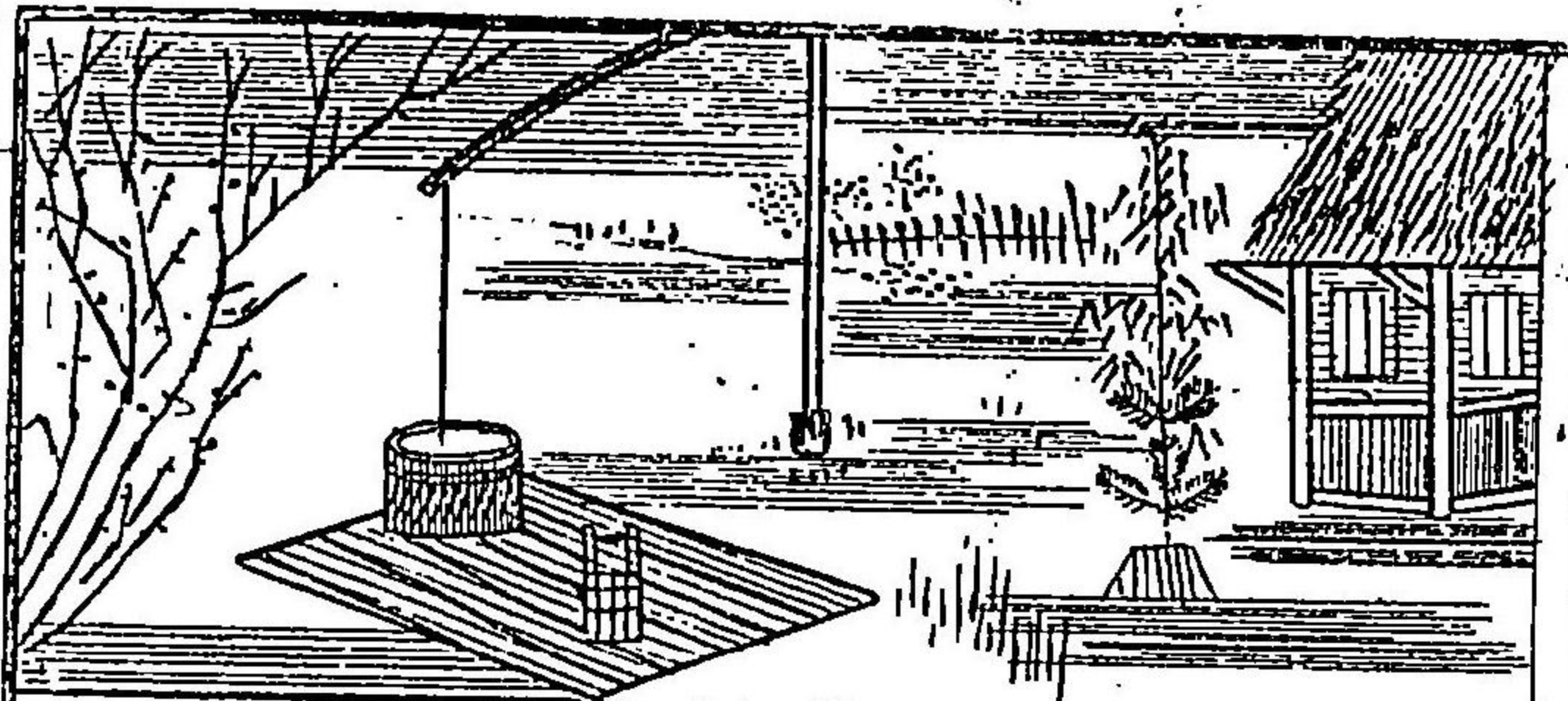




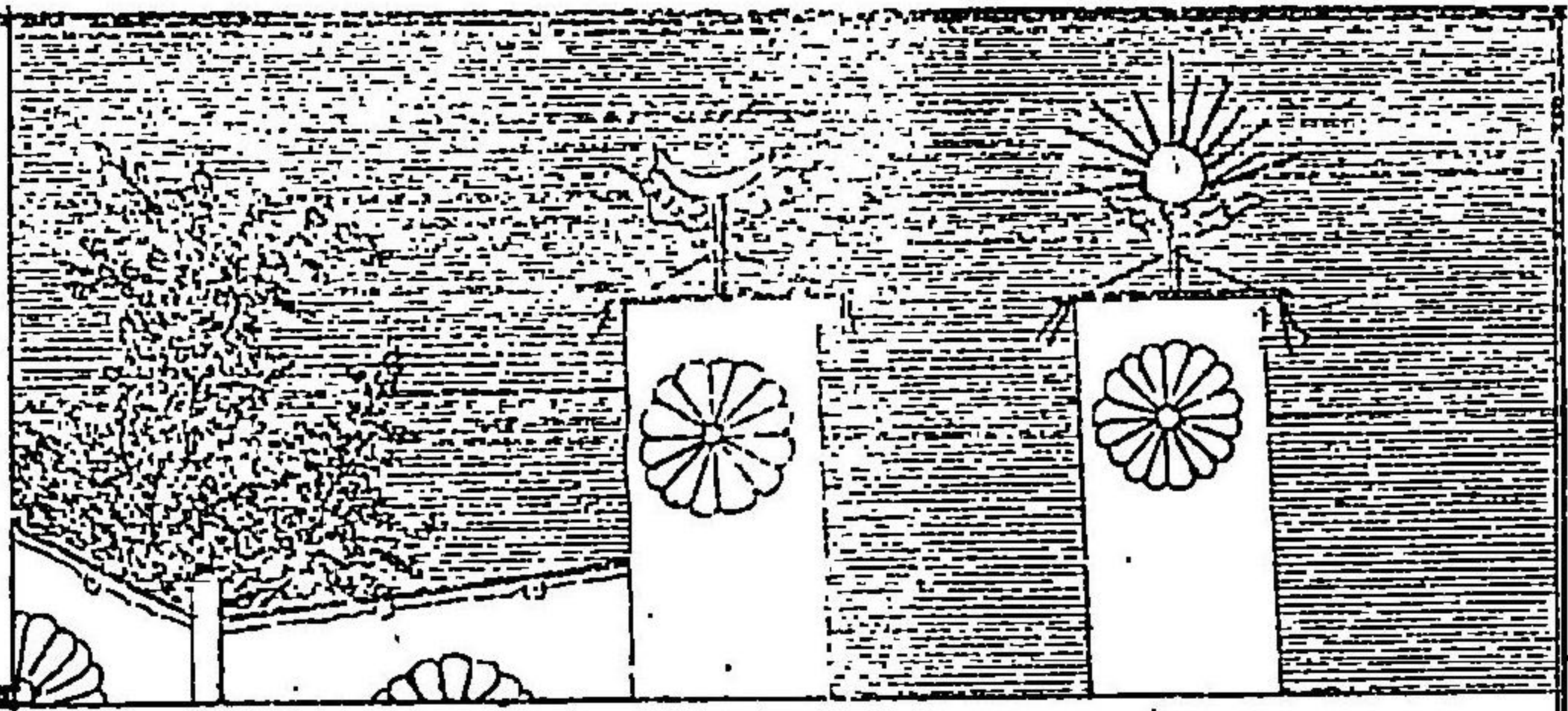
撞家あての片もあふ勢  
 入無傷高傷痛可  
 山とふくはる高細  
 秀活能多少遊  
 兼後何り居る中遊



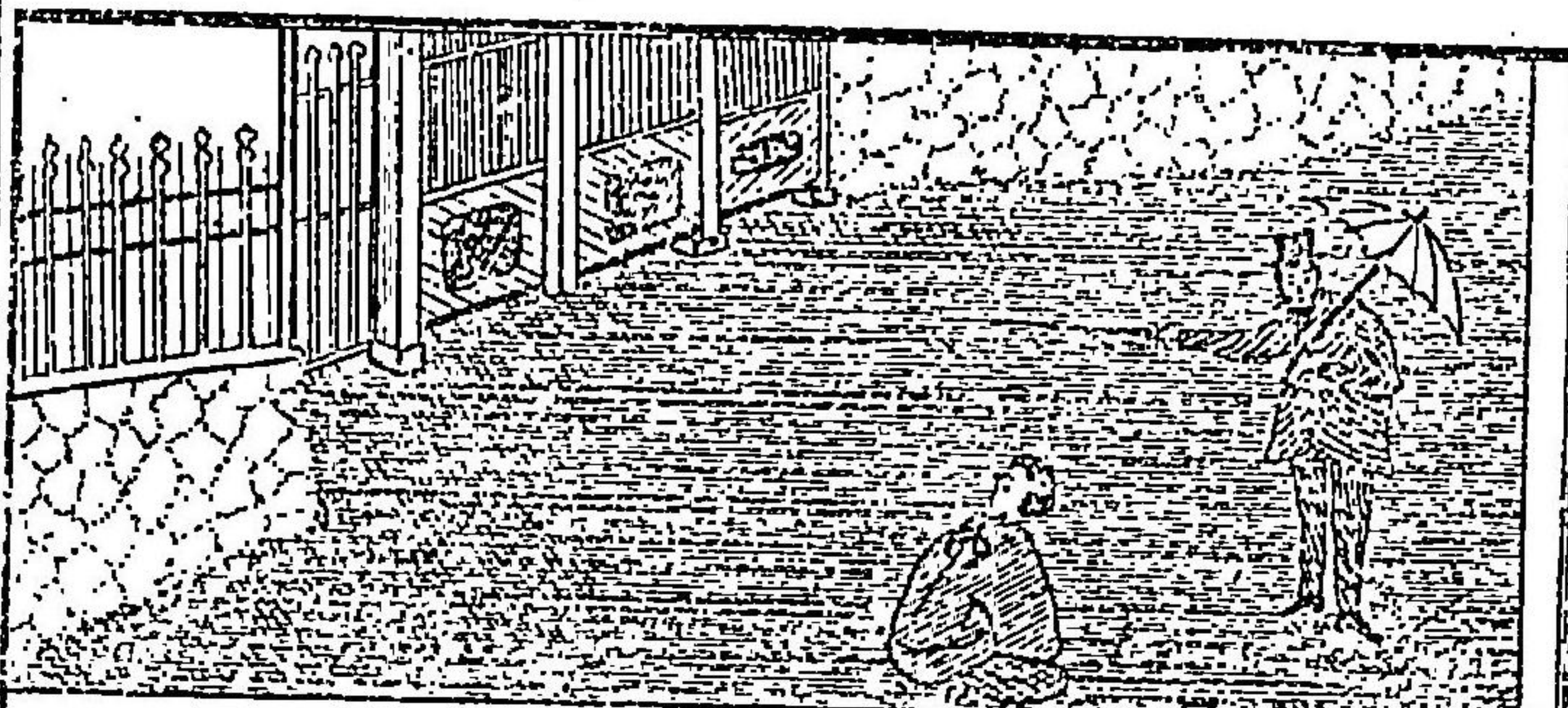
果像十願者心遊  
 幸と南の深空遊  
 代行か中遊  
 遺山穢情同遊  
 日伴環等遊年



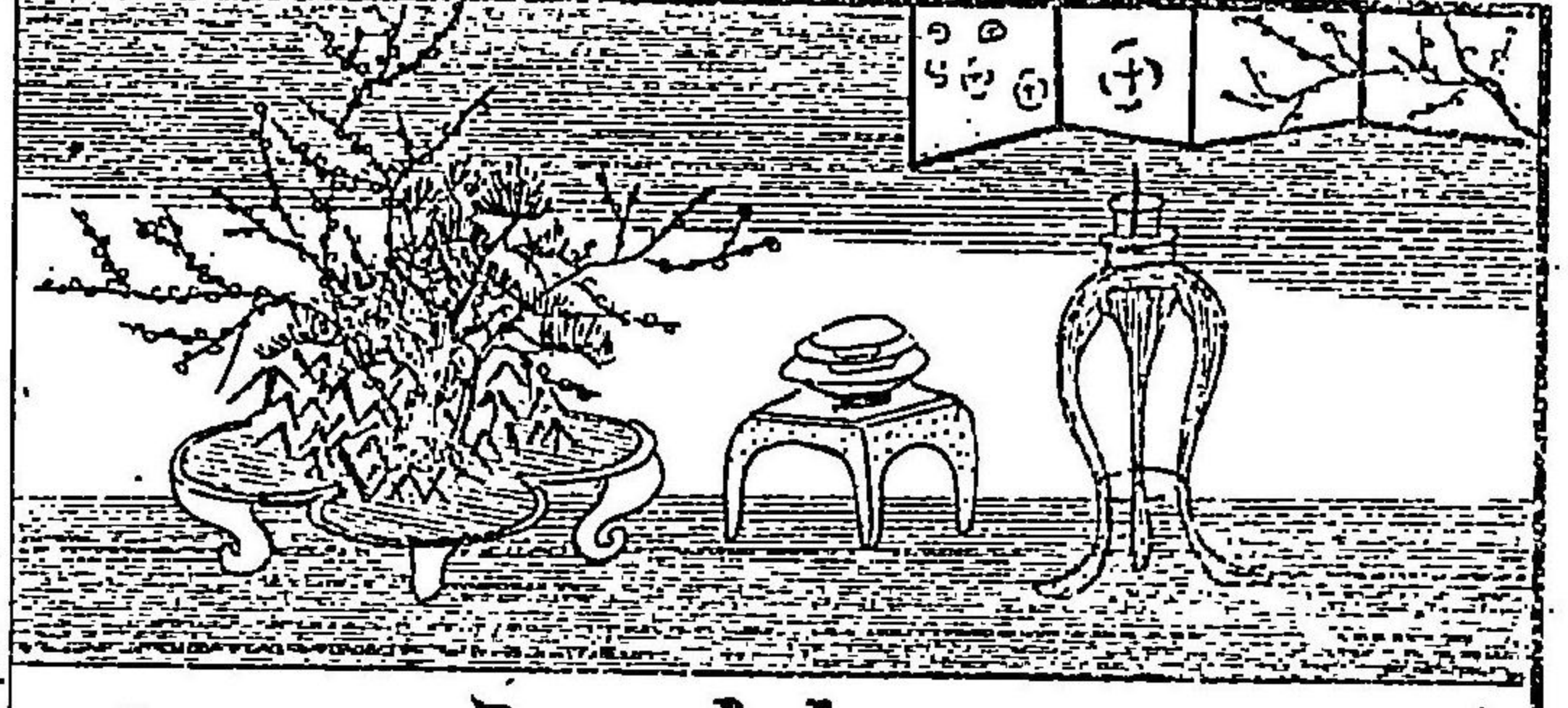
改曆の新年に  
 福を乞ふ如く  
 嘉祿の力を  
 体相を以て  
 嘉祿の君を以て



式四方神  
 知んて  
 神を  
 神を  
 神を

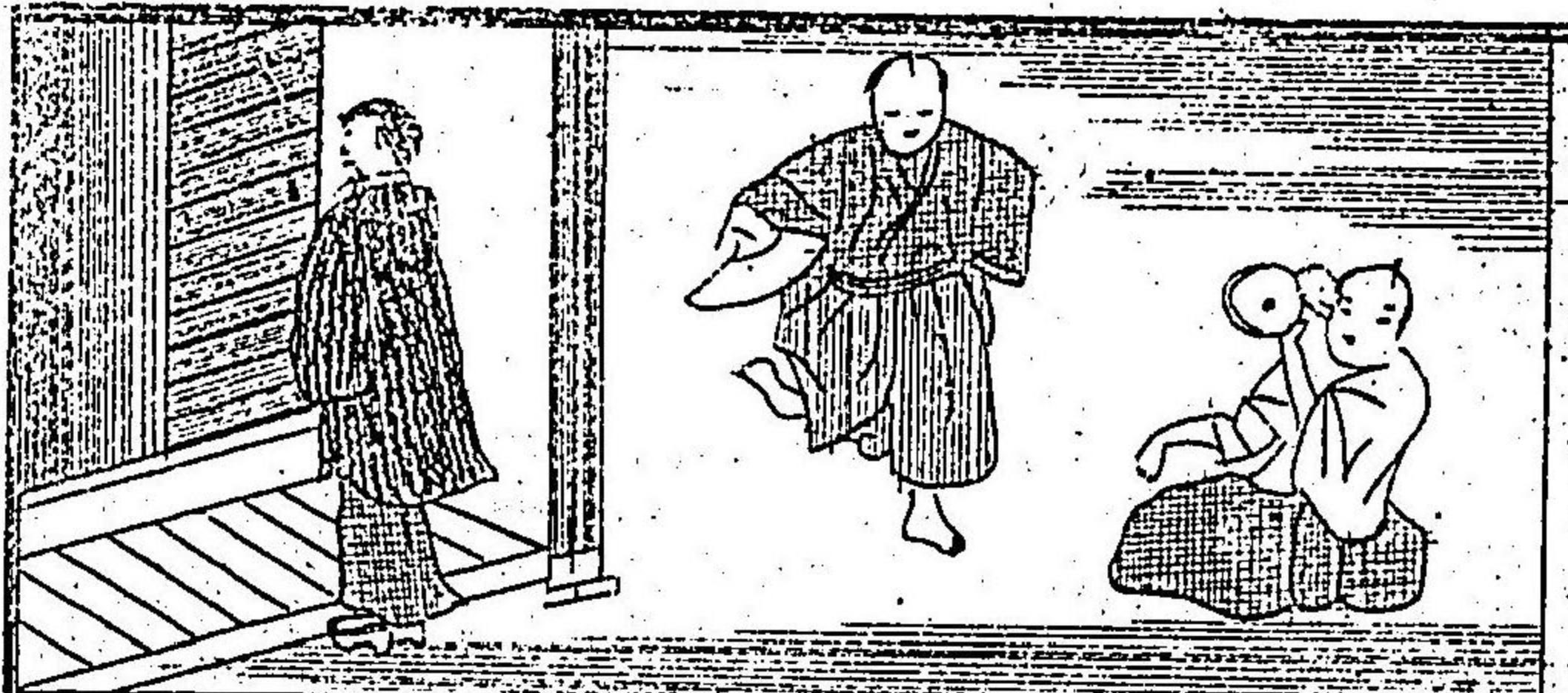
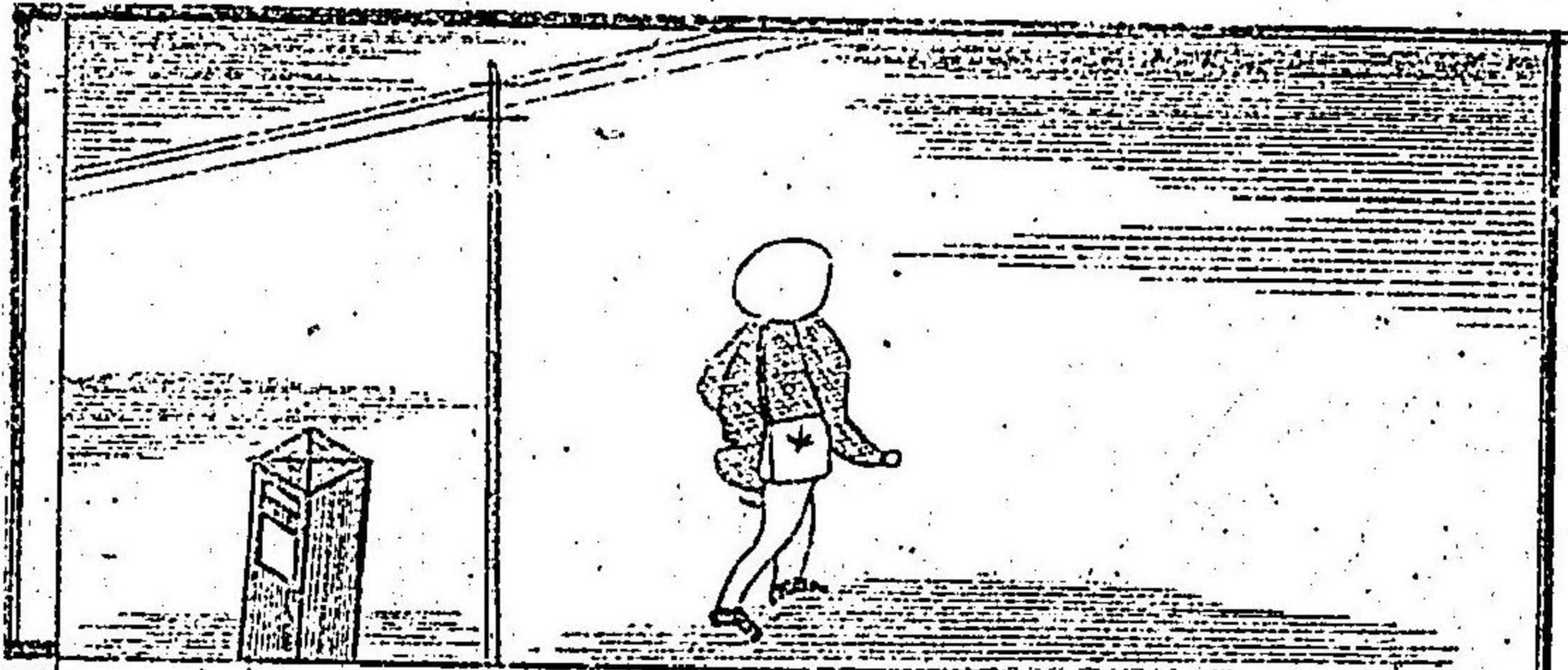


新嘗節はふしき  
 祝軍  
 要旨を指し  
 華國  
 十志を  
 スコシノコロサシ



祝軍  
 要旨を指し  
 華國  
 十志を  
 スコシノコロサシ





新入酒島法本  
 初後也  
 古号  
 音多  
 海平  
 音多  
 音多  
 音多

此依る  
 此依る  
 此依る  
 此依る  
 此依る  
 此依る  
 此依る  
 此依る

明治十三年十二月二十三日出版御届  
同十五年五月出版

東京府平民

定價金八錢

編輯人 瀧澤 清

荏原郡北呂川宿  
三十二番地

東京府平民

出版人 松田 幸助

日本橋區通四丁目  
十番地

